

「感染症流行下における適切な乳幼児健康診査のための研究」

研究代表者：小枝達也（国立成育医療研究センター）

研究分担者：河野由美（自治医科大学医学部小児科）

山崎嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

問題の所在

- 新型コロナウイルスの流行
- 集団での乳幼児健診が難しい



- 個別の乳幼児健診
- オンラインでの健診・相談

- これまで、ほとんどの自治体が集団で健診を実施しているため、個別健診へ変更しても、これまで同様の質を保つには支援が必要
- 生活の変化によって、子どもと保護者への心身の影響がみられており、健診における心理・社会的な面への支援の強化も重要

研究の目的

1. 新型コロナウイルス感染症の流行に伴って
個別健診に変更した市町村や、集団健診を続け
た市町村等における課題と対策を明らかにす
る.
2. 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う
子どもと保護者への心身の健康・生活への影響
を明らかにする.
3. 上記を踏まえ、個別またはオンラインの使用に
よって質の担保された乳幼児健診を行うための
ガイドを作成する.

分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- 全国の自治体へのアンケート調査
- 好事例の聞き取り調査
- 保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下・河野）

7月から12月

5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下・河野）

7月から12月

分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- 全国の自治体へのアンケート調査
- 好事例の聞き取り調査
- 保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下・河野）

7月から12月

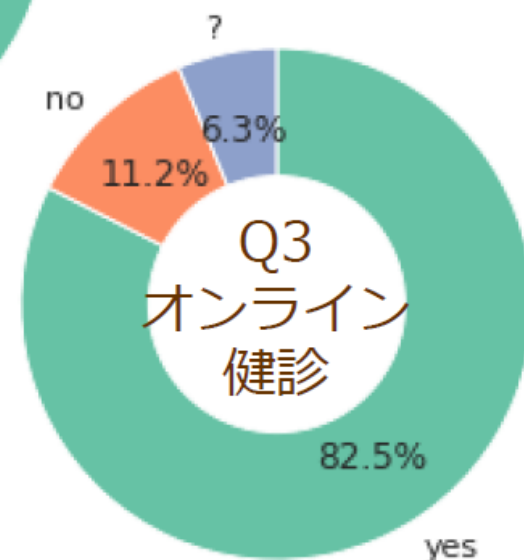
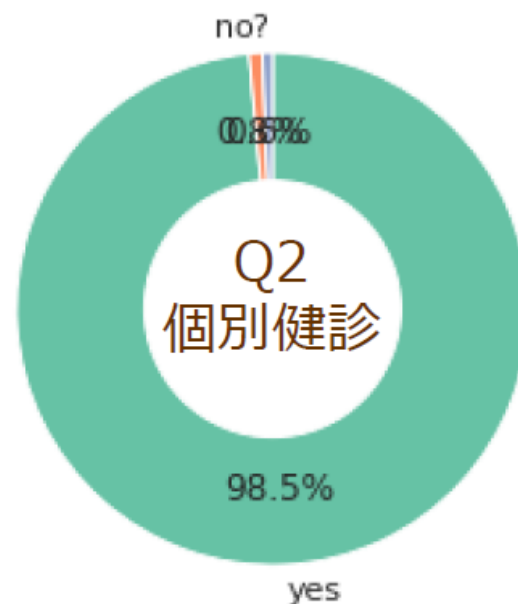
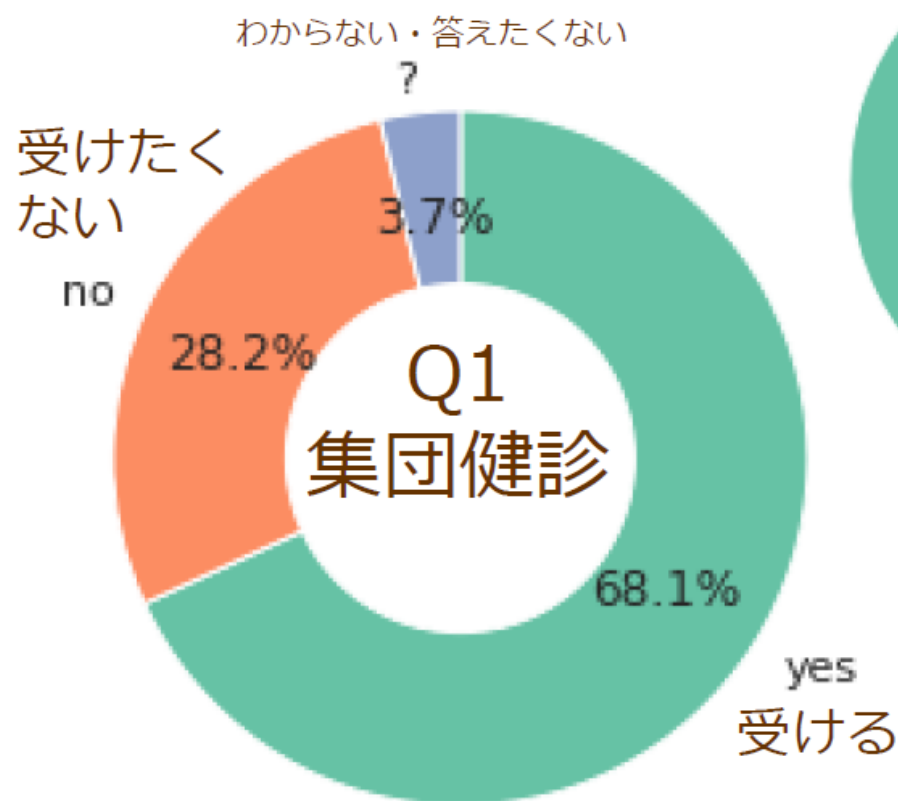
5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下・河野）

7月から12月

乳幼児健診の受診方法に関する希望

N = 2,379

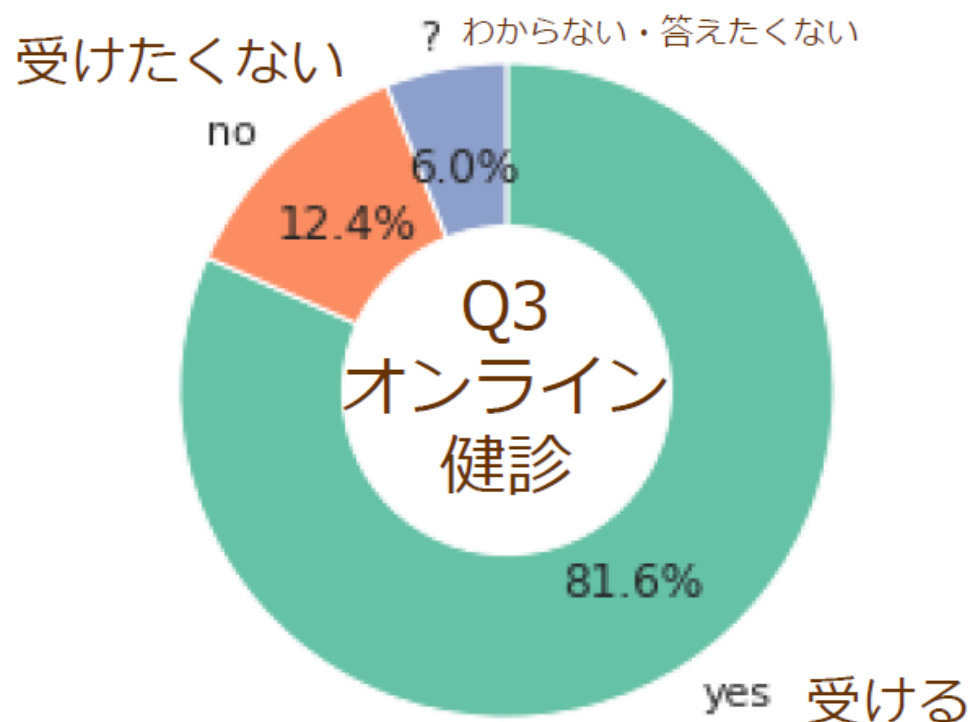
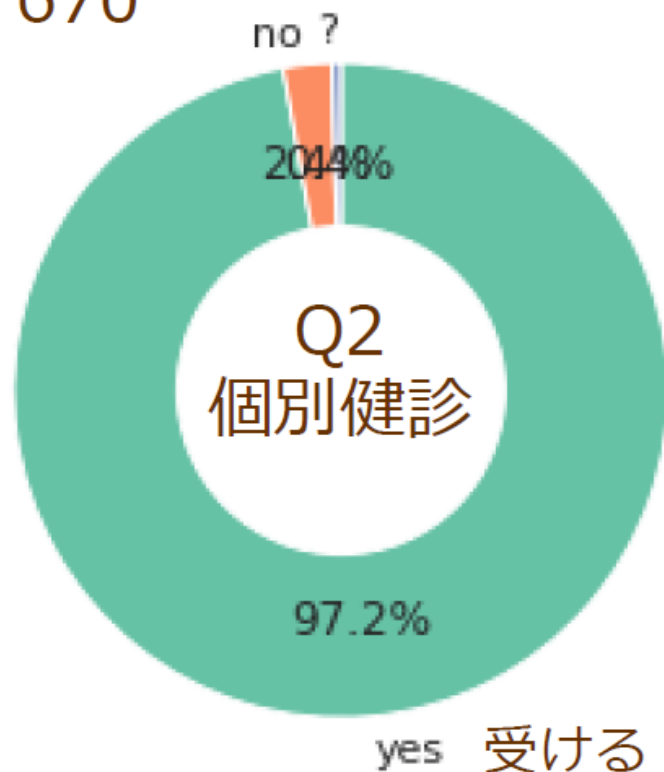


- 28%の保護者が（感染予防が実施されていても）集団健診を受けたくないと回答



集団健診を希望しない人の希望受診方法

N = 670



- 個別健診を「受けたくない」あるいは「わからない・答えたくない」と回答した全員（3%）が「オンライン健診は受ける」と回答



乳幼児健診の実施状況についての調査結果の概要

＜緊急事態宣言を受けた乳幼児健診の対応状況＞

一次調査回答: 1,182市区町村(67.9%)

- 3～4か月児健診では、個別健診に変更(12.4%)や個別健診を継続(17.4%)と個別健診の実施が3割程度.
- 1歳6か月児健診と3歳児健診は、集団健診の延期がそれぞれ72.8%, 75.0%.
- 健診担当者の9割以上が「新しい生活様式」における望ましい乳幼児健診のあり方として「感染予防に配慮した**集団健診**」と回答した.

＜オンライン保健指導等の実施状況＞

- オンライン保健指導を実施したと回答した自治体は79市区町村.
- 実施内容は、保健師や助産師、栄養士などによる保健指導(47市区町村), 両親学級(42), 離乳食指導(32), 栄養士指導(32)の順に多かった.
- 乳幼児健診にオンライン診察を取り入れている事例は把握できなかった.

感染症流行下における乳幼児健康診査の実施状況等に関する調査

【目的】COVID-19感染流行下における乳幼児健診事業ならびにオンライン保健指導等の実施状況を把握すること。

【対象・方法】

一次調査：全国1,741市区町村の乳幼児健診事業担当者
自治体の乳幼児健診に対する対応状況をA～Dの4つに区分し、状況や課題を把握（2020年9月28日～10月26日）

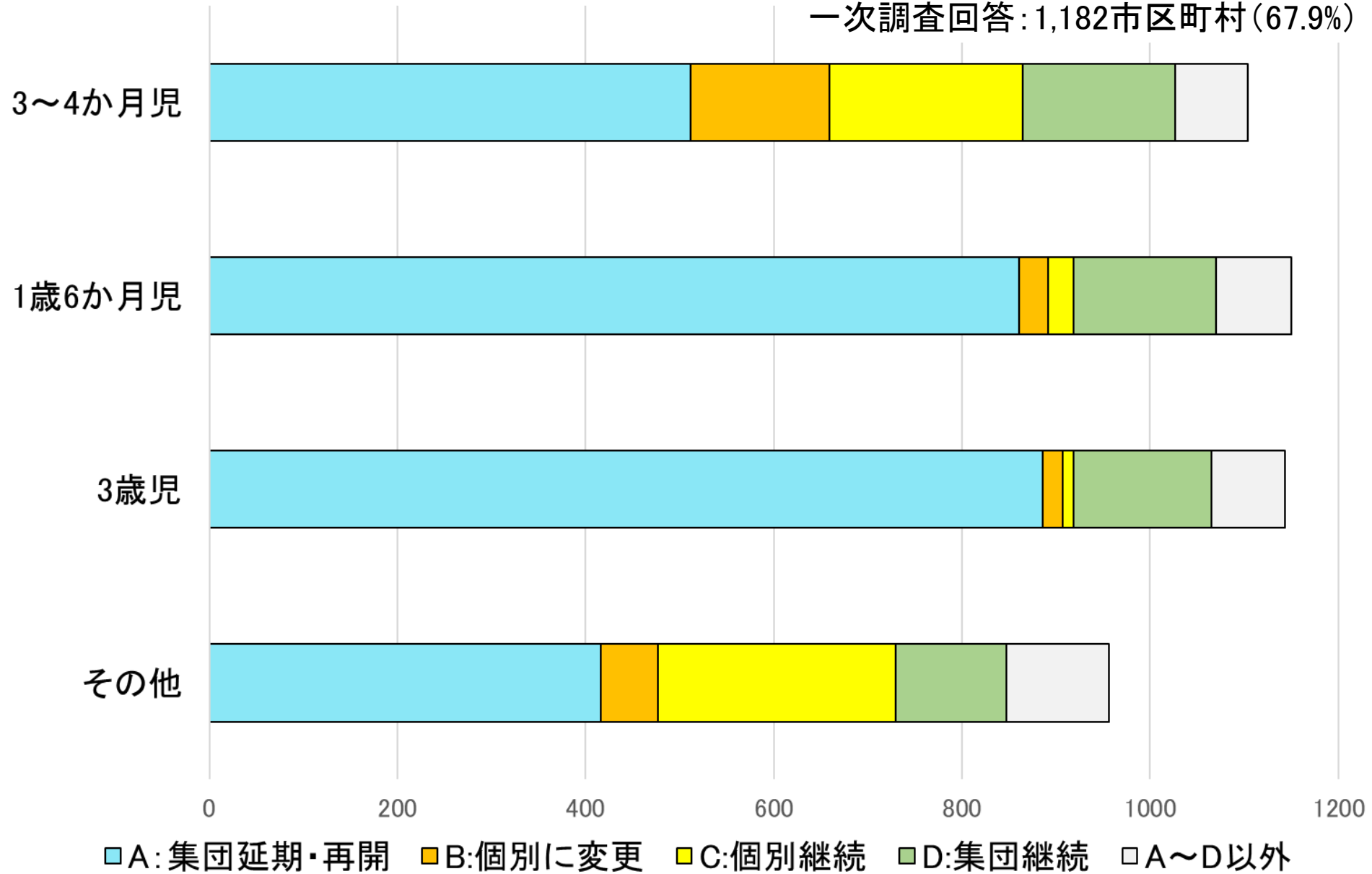
二次調査：一次調査でオンライン保健指導等を「実施」または「実施予定」と回答した302市区町村（2021年1月22日～3月5日）

＜対応パターン＞

A: 集団延期・再開	緊急事態宣言による通知を受けて、集団健診を延期し、かつ個別健診とせずに、解除後の通知を受けて集団健診を再開
B: 個別に変更	緊急事態宣言による通知を受けて、集団健診から個別健診に変更した健診を実施
C: 個別継続	緊急事態宣言による通知以前及び通知後も個別健診を継続して実施
D: 集団継続	緊急事態宣言による通知以前及び通知後も集団健診を継続して実施

健診別の対応状況

一次調査回答: 1,182市区町村 (67.9%)



「新しい生活様式」における乳幼児健診事業の 望ましいあり方についての健診担当者の考え

望ましい乳幼児健診のあり方	該当 市区町村数	該当割合
感染予防に配慮した集団健診	1,102	93.2%
感染予防に配慮した個別健診	335	28.3%
個別健診と感染予防に配慮した集団での保健指導のハイブリッド方式	276	23.4%
医療機関(医師)と自宅(親子)をつないだオンライン健診	14	1.2%
医療機関(医師の診察)と保健機関(保健師等の保健指導)と自宅(親子)をつないだオンライン健診	57	4.8%
その他*	15	1.3%

*その他の主な内容: 集団健診を軸に感染拡大状況に応じて期間限定で個別健診に切り替える, 感染への不安が強い母子に対して保護者自身が集団と個別を選択できる方法, 感染予防に配慮した個別健診と保健機関(保健指導など)との連携体制の構築, 感染予防に配慮した集団健診や必要時個別訪問による計測や各種相談等, 保育所入所児は集団健診のスタッフが保育園へ出向いて健診を行い, 家庭保育児のみ集団または個別で健診

オンライン保健指導等の実施状況

二次調査: 140市区町村(46.4%)の回答

指導内容	実施数	割合*
両親学級	42	53.2%
親子教室	14	17.7%
離乳食	32	40.5%
交流会	9	11.4%

* オンライン保健指導等実施の79市区町村に対する割合

指導内容	実施数	割合*
医師等指導	4	5.1%
保健師指導等	47	59.5%
心理士指導等	3	3.8%
栄養士指導等	32	40.5%
歯科衛生士指導	15	19.0%
多職種指導等	9	11.4%
その他	17	21.5%

乳幼児健診でのオンライン診察の実施: 0件

分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- ・全国の自治体へのアンケート調査
- ・好事例の聞き取り調査
- ・保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下）

7月から12月

5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下）

7月から12月

乳児健康診査のビデオ作製

3, 4か月児健診ビデオ供覧

乳児健康診査のビデオ作製

9, 10か月児健診ビデオ供覧

分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- ・ 全国の自治体へのアンケート調査
- ・ 好事例の聞き取り調査
- ・ 保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下）

7月から12月

5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下）

7月から12月

乳児のオンライン健診

オンライン健診の方法

予約時

- 1) 日時の決定
- 2) 問診票記入→画像送付またはFAX送付
- 3) 身体計測方法の指示

当日

- 1) 対象者の確認
- 2) 問診票の確認
- 3) 身体計測値 → 成長曲線にプロットして確認
- 4) オンライン診察の実施: **画像の視診に加え、問診でも確認**
想定される疾患により**緊急性についても評価**
- 5) 判定と保護者への説明

判定

異常なし	
既医療	
要観察	
要受診	緊急性あり・緊急性なし
要紹介	緊急性あり・緊急性なし

説明、保健指導、後日受診の予約

- 6) 健康診査票に記入

事後処置とフィードバック

健康診査票の送付、受診の確認
緊急度が高い場合には電話等で直接伝える

実施して気づいた点

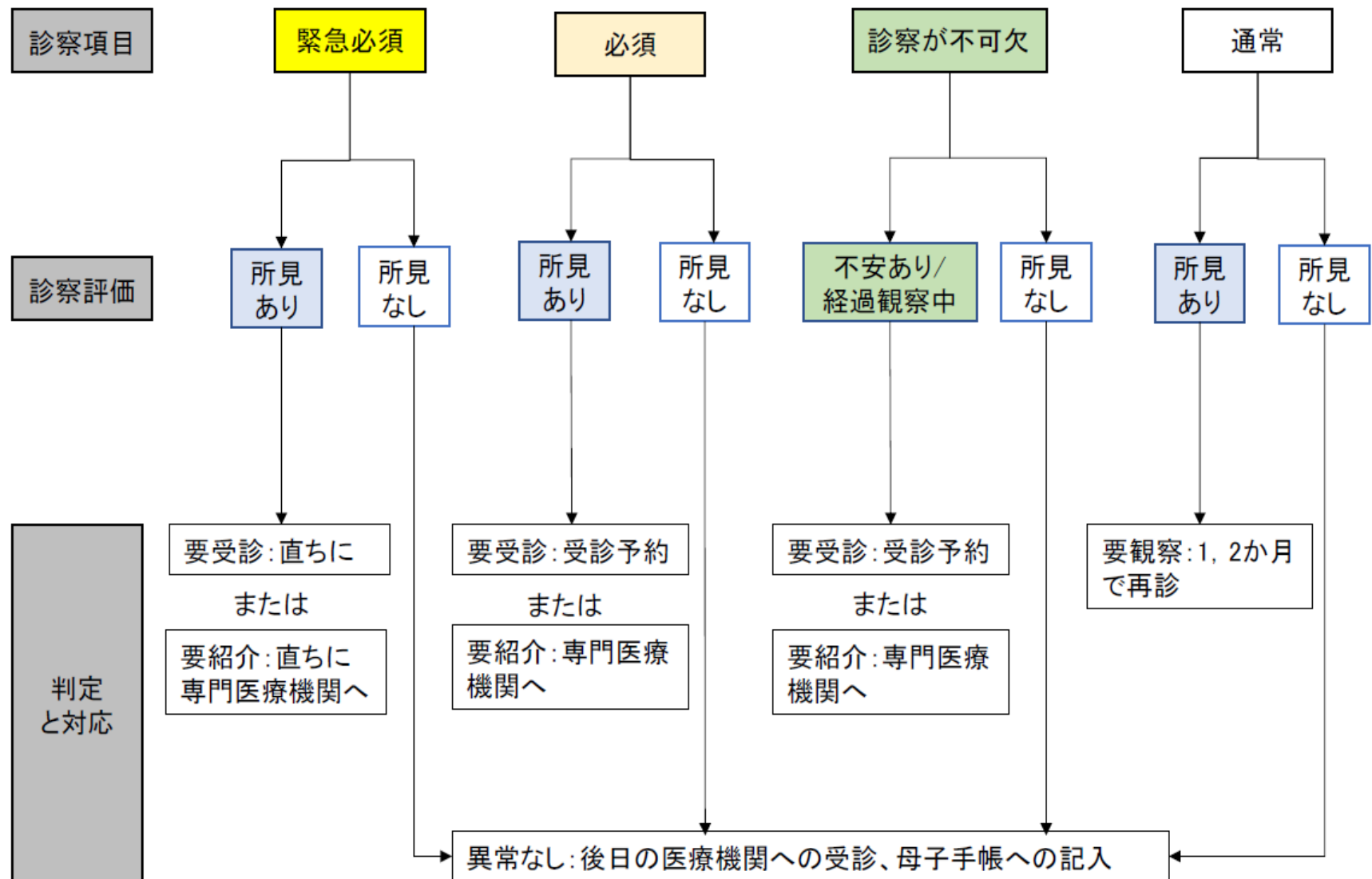
保護者が一人では、自由に動く9～10か月児をカメラに収めることが難しい

触診のしかた等を日頃から説明しておくことが望ましい

引き起こし反応、パラシュート反射は説明が難しい。
運動発達遅滞や神経学的異常は背臥位、腹臥位、抱っこ時の姿勢、這い這いや伝い歩き等の運動の動画と問診で確認

保護者が不安をもっている場合、過去に指摘がある場合も要受診または要紹介

オンライン健診の診察項目レベル別判定と対応フローチャート



分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- ・全国の自治体へのアンケート調査
- ・好事例の聞き取り調査
- ・保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下）

7月から12月

5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下）

7月から12月

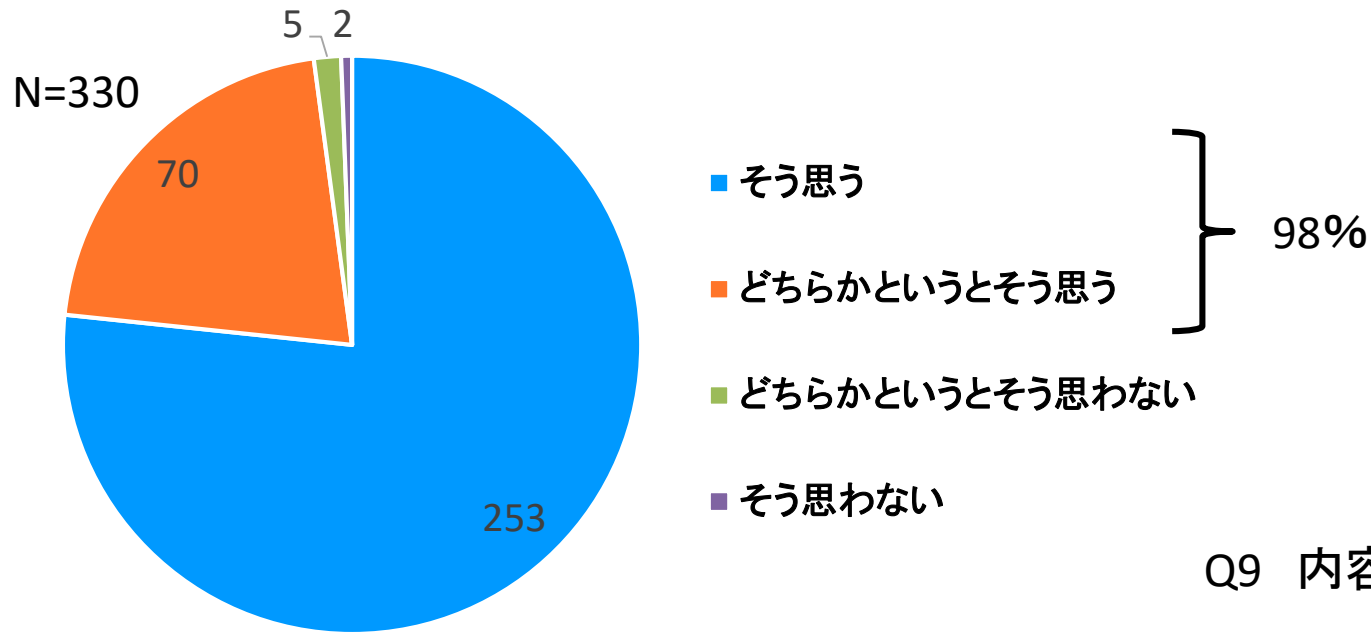
健やか子育てガイド 1歳6か月版

1. 栄養について
2. うんちやおしっこについて
3. 遊びや行動について
4. 睡眠について
5. おうちの状況や安全について

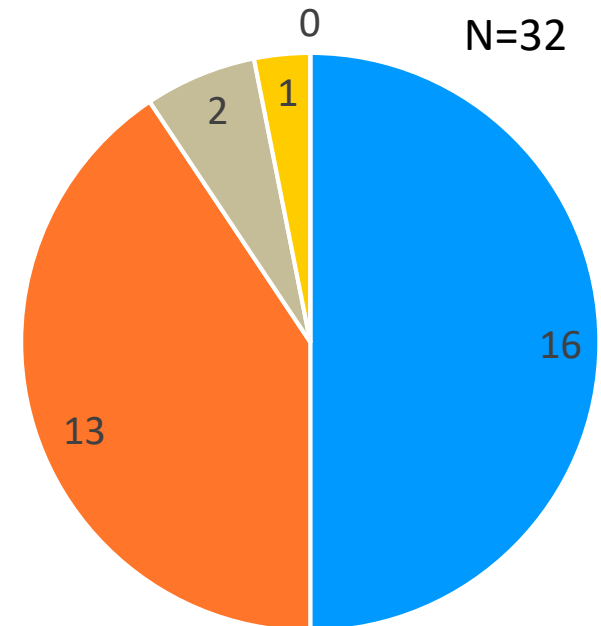


- 保護者への問診票
- 医師向けのガイドンス

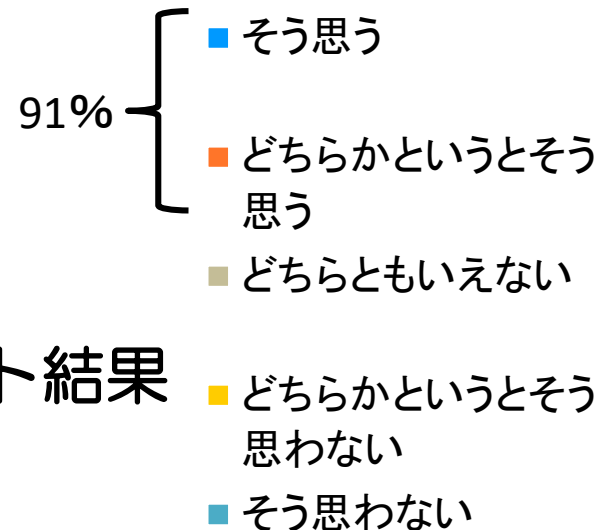
Q5 役に立つか？ 保護者アンケート結果



Q9 内容は適切か？



担当医アンケート結果



分担研究課題と期間

1. 個別健診への移行に関する実態調査（山崎）

- ・全国の自治体へのアンケート調査
- ・好事例の聞き取り調査
- ・保護者のアンケート（森崎，半谷）

7月～11月

2. 乳児健診の診察項目の確定と研修ビデオ作製（河野・山崎・小枝）

7月～9月

3. オンライン健診の可能性について（小枝・河野・秋山・阪下）

7月～11月

4. 1歳6か月児個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・橋本・川崎・秋山・阪下）

7月から12月

5. 5歳児の個別健診における保健指導とガイダンス実施

（小枝・片岡・秋山・阪下）

7月から12月

健やか子育てガイド 5歳版

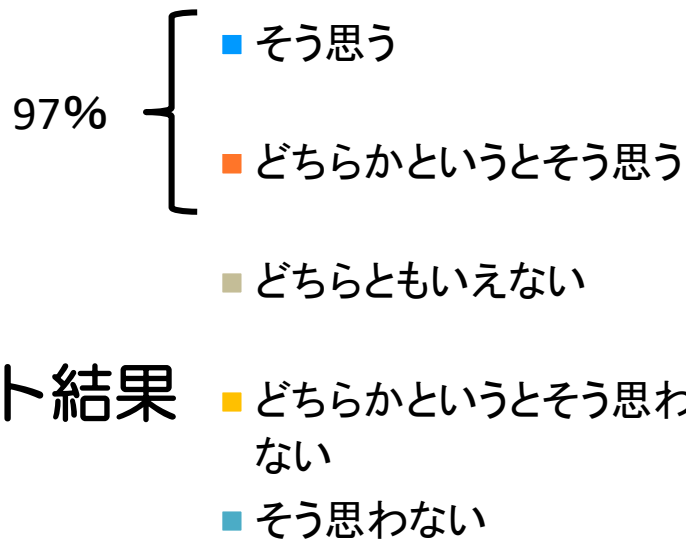
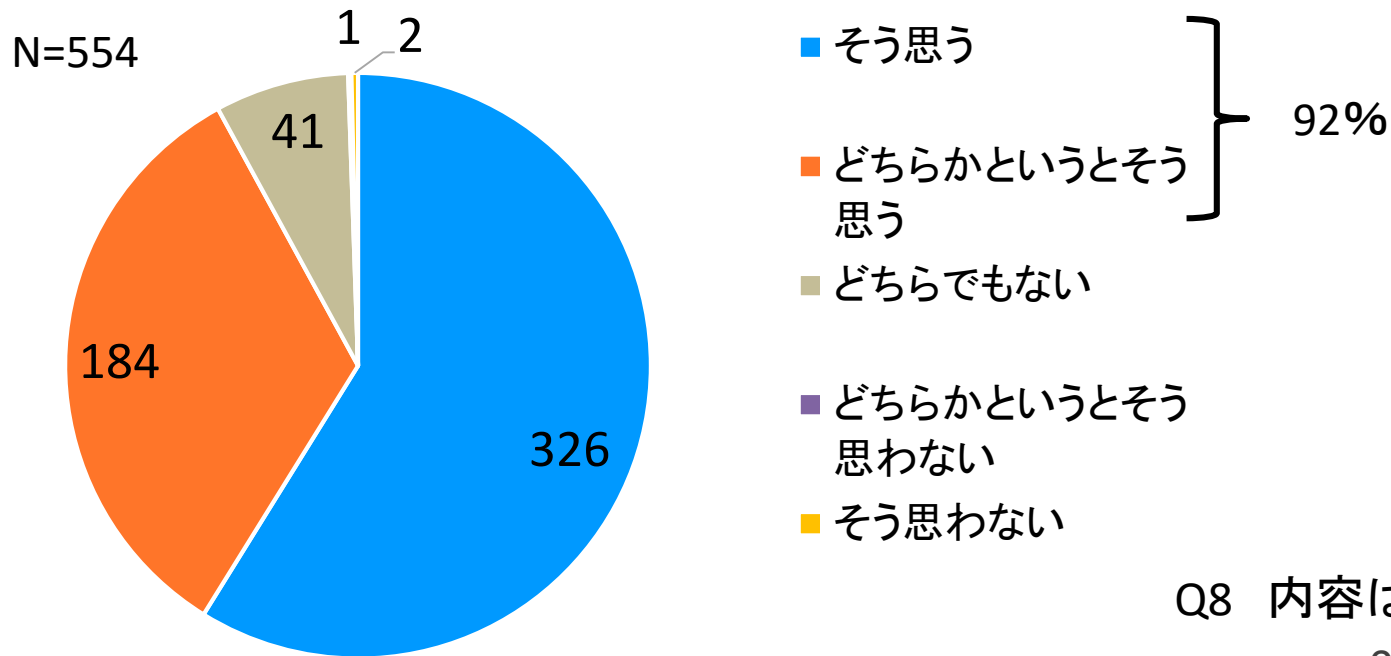
1. 栄養と運動について
2. こころの健康
3. 遊びやメディア使用について
4. 睡眠について
5. おうちの状況や安全について



- 保護者への問診票
- 医師向けのテキスト

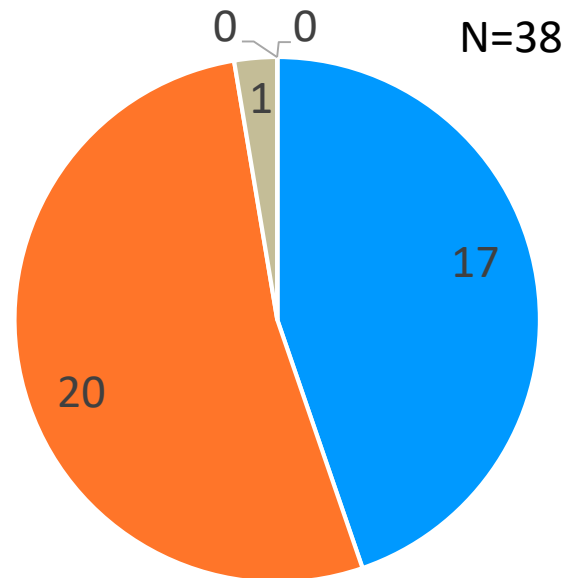
Q5 役に立つか？

保護者アンケート結果



担当医アンケート結果

Q8 内容は適切か？



健やか子育てガイドの保護者問診票の解析結果

(1歳6か月児健診700名 5歳児健診1269名)

- 寝る前のテレビ視聴が多いと夜中の中途覚醒が多く、睡眠時間が短い
 - 子どもの癇癪
 - 子どもの粗暴
 - 経済的困窮
- がある、保護者のイライラが高まり、怒鳴る子育てが増え、育児支援を求めるようになる。

健やか親子21の重点課題 1

「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」
の重要性を再確認

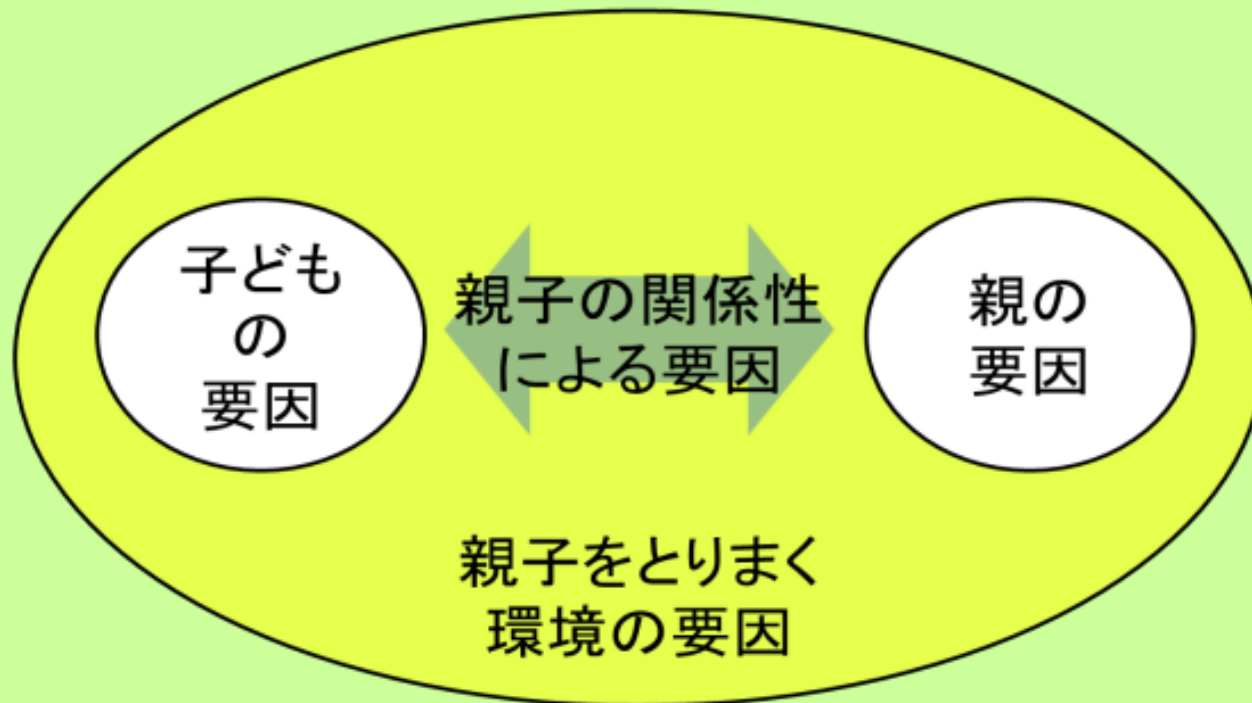
健やか親子21(第2次)

重点課題① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

目標: 親や子どもの多様性を尊重し、それを支える社会の構築

親子が発信する様々な育てにくさのサインを受け止め、
丁寧に向き合い、子育てに寄り添う支援の充実を図る。

「育てにくさ」の要因



【研究結果の概要】

1. 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、28%の保護者は集団健診を受けたくないと感じていた。
2. 自治体の実態としては、3～4か月児健診では、個別健診に変更したのは12.4%で、1歳6か月児健診と3歳児健診は、70%以上が集団健診を延期する対応としていた。
3. 健診担当者の9割以上が、望ましい乳幼児健診は「感染予防に配慮した集団健診」と回答した。
4. 乳児健診研修ビデオを作成し、全国の自治体に配布した。
5. オンライン健診実施に向けた評価レベルとフローチャートを作成した。
6. 個別健診の保健指導をより充実させるために健やか子育てガイド（1歳6か月と5歳）を作成した。これを使用した個別健診は保護者からも担当医からも支持された。
7. 健やか子育てガイドの結果より「育てにくさに寄り添う支援」の重要性が再確認された。

【Take Home Message】

- 新型コロナウイルス感染症流行下における，乳幼児健康診査は「感染予防に配慮した集団健診」で対応していた市区町村が多く，健診担当者の多くが感染症流行下においても，集団健診が望ましいあり方だと考えていた。
- 保健指導を充実させた個別健診も選択肢になる。
- 「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」がいっそう重要。